資料１

新たな県立病院改革プランの
平成３０年度の取組状況について

新たな県立病院改革プランについて

◇ 県立病院が、地域住民の健康をしっかりと守ることのできる医療を確保することを前提に、『地域をささえ、つなぎ、共にすすむ』『病院経営の効率化』を基本目標として、平成29年度から32年度までの4年間における病院経営の指針として策定したもの。

◇「Ⅰ 各県立病院で果たすべき基本的役割」、「Ⅱ 医療の質の向上の取組」「Ⅲ 県立病院事業の経営効率化に向けた収支計画」を取組内容とし、その取組状況を毎年進行管理していく。

＜改革プランの経過＞

① 県立病院改革プラン：平成２１年度～平成２５年度
② 第２次県立病院改革プラン：平成２６年度～平成２８年度
③ 新たな県立病院改革プラン：平成２９年度～平成３２年度（令和２年度）

＜経営評価委員会の主な役割＞
県立病院改革プランの取組状況を点検・評価し、病院局及び各県立病院に対して意見・助言を行うこと。

新たな県立病院改革プラン進行管理

Ⅰ　県立病院の取組状況　P．２

■ 各県立病院の基本的役割を果たすために必要となる主要な取組の実績

基本的役割

中山間地域における救急医療等の提供と地域づくりへのチャレンジ		先進的な精神科医療の提供	震災からの復興･再生を支える安心な医療の提供	
南会津病院	宮下病院	矢吹病院	ふたば医療センター	
			附属病院	ふたば復興診療所

Ⅱ　医療の質の向上の取組状況　P．３～７

■ 各県立病院における医療の質の向上に向けて実施する病院機能評価等の結果

病院機能評価	各県立病院の組織全体の運営管理と提供する医療について「患者中心の医療」「良質な医療」「チーム医療」「組織運営」の各領域の項目（一般病院：89項目、精神病院：92項目）を外部審査等により評価 → 外部審査：５年に１回受審 中間検査：外部審査認定後３年目に受審 自主点検：上記審査等以外の年に実施
数値目標評価	病院機能評価の項目の中から各県立病院で設定した数値目標の評価 → 目標評価：目標値達成状況の自己評価（定量評価）

Ⅲ　経営の効率化に向けた取組状況　P．８

■ 患者状況
■ 決算状況
■ 収支計画の目標「政策医療経費の繰入」「累積欠損金の処理」の状況

Ⅰ　県立病院の取組状況

【基本的役割】　中山間地域における救急医療等の提供と地域づくりへのチャレンジ

南会津病院(98床)

院長　佐竹　賢仰

◆救急医療の水準確保
➢南会津地域唯一の救急告示病院として、『断らない救急』を合い言葉に、24時間365日体制で救急医療を実施

	H28	H29	H30
救急車受入（回）	684	685	712
時間外患者（人）	3,957	3,586	3,403

◆公的診療所等への診療応援
➢只見町朝日診療所等への応援を実施

	H28	H29	H30
国保診療所（回）	21	26	42
特養老人ホーム（回）			55

※H30より、地域医療支援C（南会津広域町村組合）が行っていた訪問診療について継承

◆人材育成
➢臨床研修医や地域医療に関心を持つ医学生や看護学生等を受け入れ、地域医療への理解促進や将来的な医療人材確保に協力

	H28	H29	H30
初期臨床研修医（人）	13	14	11
地域医療実習（人）	3	3	3

◆訪問看護ステーションの開設
➢平成29年11月に「訪問看護ステーション」を開設し、利用者の在宅療養を支援
（平成30年度延べ利用者数：986人）

◆地域住民の健康増進への支援
➢医療講演会を開催し、地域住民の健康増進を支援
➢小児科医による医療相談会を郡内５会場で開催（延べ100名参加）
➢平成30年11月、認知症疾患医療センター指定を受け、業務を開始

	H28	H29	H30
医療講演会（回）	24	19	29
医療相談会（回・人）	8・120	7・100	5・100

宮下病院(32床)

院長　浅野　宏

◆救急医療の水準確保
➢救急協力病院として、必要な医療機能や病床を確保するとともに、地域の医療機関等と連携して救急医療を実施

	H28	H29	H30
救急車受入（件）	85	79	78
時間外患者（人）	620	548	525

◆公的診療所等への診療応援
➢金山町国保診療所等への応援を実施

	H28	H29	H30
国保診療所（回）	198	153	150
特養老人ホーム（回）	79	68	71

◆人材育成
➢臨床研修医や地域医療に関心を持つ医学生や看護学生等を受け入れ、地域医療への理解促進や将来的な医療人材確保に協力

	H28	H29	H30
初期臨床研修医（人）	5	6	7
地域医療実習（人）	12	9	9

◆訪問診療･訪問看護等の充実
➢地域住民が安心して在宅療養ができる訪問診療･訪問看護を実施
➢出前講座などを通じた地域住民の健康増進を支援
➢平成29年4月から、在宅療養生活支援外来「愛ばんしょ外来」を開始し、院内健康教室を実施

	H28	H29	H30
訪問診療（件）	69	57	41
訪問看護（件）	127	73	70
出前講座（回・人）	24・455	17・260	40・564
院内健康教室（回・人）	15・188	50・664	49・419

先進的な精神科医療の提供

矢吹病院(196床)

院長　橘髙　一

◆明るく開放的で快適な病院への建替
➢先進的な精神科医療を担う「こころの医療センター（仮称）」として全面建替を行うため、基本設計まで完了

◆措置入院･処遇困難患者の受入
➢保護室の回転率を高めることなどにより、処遇困難（県マッチング事業）患者の積極的な受け入れ

	H28	H29	H30
措置入院（人）	10	4	3
処遇困難（人）	15	6	2

◆児童思春期外来の実施
➢平成２３年8月に開設した児童思春期外来における専門的な診療の実施

	H28	H29	H30
児童思春期外来（人）	1,431	2,270	3,181

◆訪問看護･デイケアの充実
アウトリーチ（多職種による訪問支援）の実施
➢医療相談室や訪問看護ステーションを中心に患者の地域移行・地域定着支援を実施
➢未治療者やひきこもりの障がい者へのアウトリーチによる早期発見・治療の促進

	H28	H29	H30
訪問看護（人/日）	10.9	15.9	19.2
デイケア(人/日)	12.3	14.1	12.5
アウトリーチ（件）	377	287	82

◆精神科救急医療への対応
➢精神科救急医療システム指定医療機関として、救急輪番に対応するとともに、夜間・休日の精神科救急情報センター業務（電話相談・受入先調整）を受託

	H28	H29	H30
休日・時間外診察患者数（人）	31	27	17
休日・時間外入院患者数（人）	25	33	22

震災からの復興･再生を支える安心な医療の提供

ふたば医療センター

附属病院【ふたば】(30床)

センター長(兼)
院長　谷川　攻一

◆地域医療の確保
➢双葉地域唯一の二次救急医療機関として、平成30年4月23日診療開始
➢同地域の救急医療の更なる強化に向け、同年10月29日多目的医療用ヘリの運航を開始
（平成30年度ヘリ運航件数35件）

※救急搬送の状況

	搬送人数(a)	うち管内搬送(b)	うちふたば搬送	管内搬送率(b/a)
H30	905	503	444	55.6
H29.1～12(通年)	711	199	0	28.0

◆提供する医療機能
➢診療科：救急科・内科
➢救急医療(24時間365日対応)

	H30
入院（人）	1,338
外来（人）	2,816
うち訪問看護(人)	64

ふたば復興診療所【リカーレ】

所長　伊藤　博元

◆地域医療の確保
➢県立福島医大のバックアップにより、大学病院と同等の高度な診療を提供する｢かかりつけ医｣として附属病院と役割分担し、外来診療を実施
◆患者数の動向
➢帰還住民の増加に伴い患者数が増加
➢地域別では、楢葉町と広野町で全体の7割以上
➢年齢別では、全体の7割以上が60歳以上

	H28	H29	H30
内科（人）	3,863	4,339	5,131
整形外科（人）	2,491	2,317	2,652

Ⅱ　医療の質の向上の取組状況

南会津病院

1　病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検：平成30年7月～8月　　改善：平成31年2月
点検結果概要	【Ａ評価：73項目、Ｂ評価：14項目、Ｃ評価：0項目】 ■　各部署で病院機能評価項目に基づいて自主点検を実施。 ■　改善結果について、院内の「病院機能評価プロジェクト会議」において確認した。
改善結果	■　Ａ評価からＳ評価へ改善：2項目 →　「地域からの患者受け入れ」「画像診断機能」 ■　Ｂ評価の項目について、引き続き改善に取り組んでいく。

2　数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	平成30年度				平成29年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	患者満足度･家族満足度	81.5%	63.8%	3	ふれあいギャラリーの展示、接遇改善の取組	80.0%	66.3%	3
	広報誌の発行数等	3回	3回	5	広報紙「かけはし」を5、8、12月の3回発行、郡内全戸に配布	3回	3回	5
	ホームページ更新数	45回	45回	5	ふれあいギャラリー展示の掲載	45回	33回	3
	交流イベントの開催	2回	2回	5	「南会津商工産業まつり」への出展、院内コンサートの開催	2回	2回	5
良質な医療の実践	紹介率	20.1%	22.1%	5	地域内の診療所等との相互紹介の定着	19.2%	20.5%	5
	逆紹介率	15.1%	18.2%	5	地域内の診療所等との相互紹介の定着	14.2%	16.2%	5
	病床利用率	61.4%	61.8%	5	「断らない救急」の継続的な取組及び保健福祉施設等との連携等	62.5%	50.8%	3
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	12人	13人	5		12人	12人	5
	医療安全研修参加率	89.5%	90.0%	5	委託職員への周知徹底や欠席者への補講の実施	89.0%	86.0%	4
	資格取得者支援者数	4人	7人	5	認知症疾患医療センターへの配置や各種研修における講師	2人	3人	5
	経常収支比率	100.1%	99.9%	4		100.1%	100.1%	5
	医業収支比率	63.5%	67.8%	5	保健福祉施設等との連携による特別養護老人ホームからの入院受入等	63.5%	64.1%	5
	過年度未収金残高	8.1百万円	5.6百万円	5	督促状、出張徴収、弁護士回収委託等	8.2百万円	5.7百万円	5

※ 前年度実績値比：増加→緑色、減少→赤色

○自己評価基準

目標値達成状況の自己評価（定量評価）	
【５】	目標値を上回った。達成度１００%以上
【４】	目標値を達成できた。達成度９０%以上
【３】	目標値をほぼ達成できた。達成度７０%以上
【２】	目標値を下回った。達成度５０%以上
【１】	目標値を大きく下回った。達成度５０%未満

〈参考〉

南会津病院の状況

県立南会津病院				
事業開始年月		S24.7		
年度		H30実績	H29実績	H30-H29
1　施設等の概要				
病床数	【床】	98	98	0
100床当たり医師数	【人】	13.3	13.3	0
医師数	【人】	13	13	0
100床当たり看護職員数	【人】	92.9	90.8	2.1
看護職員数	【人】	91	89	2
2　病院概要				
診療圏の人口	【人】	24,940	25,533	-593
診療科		内科/外科/整形外科/小児科/麻酔科/耳鼻いんこう科/ 眼科/婦人科/ 皮膚科/ 神経精神科 / 神経内科/泌尿器科/漢方内科	内科/外科/整形外科/小児科/麻酔科/耳鼻いんこう科/ 眼科/婦人科/ 皮膚科/ 神経精神科 / 神経内科/泌尿器科/漢方内科	
3　損益の状況				
病院事業収益	【千円】	2,254,833	2,315,821	-60,988
医業収益	【千円】	1,473,819	1,421,252	52,567
（うち一般会計繰入金）		(73,981)	(136,013)	(-62,032)
入院収益	【千円】	709,407	593,644	115,763
外来収益	【千円】	630,262	640,846	-10,584
その他医業収益	【千円】	134,150	186,762	-52,612
医業外収益	【千円】	779,464	893,620	-114,156
（うち一般会計繰入金）		(605,130)	(686,209)	(-81,079)
特別利益	【千円】	1,550	949	601
病院事業費用	【千円】	2,257,787	2,318,719	-60,932
医業費用	【千円】	2,174,786	2,221,349	-46,563
給与費	【千円】	1,201,632	1,279,787	-78,155
材料費	【千円】	295,761	271,077	24,684
経費	【千円】	461,887	431,150	30,737
減価償却費	【千円】	153,325	207,493	-54,168
資産減耗費	【千円】	23,918	5,502	18,416
研究研修費	【千円】	38,263	26,340	11,923
医業外費用	【千円】	81,586	93,977	-12,391
（うち企業債利息）		(81,586)	(93,976)	(-12,390)
特別損失	【千円】	1,415	3,393	-1,978
医業収支［収益-費用］	【千円】	-700,967	-800,097	99,130
純損益	【千円】	-2,954	-2,898	-56
収支差補填額（全額一般会計繰入金）	【千円】	336,088	429,313	-93,225
4　経営分析				
病床利用率	【%】	62.0	50.9	11.1
平均在院日数	【日】	15.3	13.3	2
入院患者数	【人】	22,165	18,216	3,949
1日平均入院患者	【人】	60.7	49.9	10.8
入院診療単価	【円】	32,013	32,602	-589
外来患者数	【人】	58,328	59,415	-1,087
1日平均外来患者	【人】	239	243.5	-4.5
外来診療単価	【円】	10,826	10,809	17
外来/入院比率	【%】	263.2	326.2	-4.3

収益増減理由
○入院収益：+115,763千円 ・新規患者数の増や平均在院日数の増による入院患者数の増（+3,949人） ○外来収益：▲10,584千円 ・小児科で子供の減少や近隣耳鼻科への患者流出、耳鼻咽喉科で常勤医不在による外来患者数の減（▲1,087人）

費用増減理由
○医業費用：▲46,563千円 ・退職者減（4人→1人）による給与費の減（▲78,155千円） ・化学療法実施件数増（126件→167件）による材料費の増（+24,684千円（うち薬品費：+13,385千円）） ・新規非常用発電機保守点検の委託等による経費の増（+30,737千円（うち委託料：+20,211千円）） ・医療情報システム更新による減価償却費の減（▲54,168千円）

一般会計繰入金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

宮下病院

〈参考〉

1　病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検：平成30年6月～7月　改善：平成31年2月
点検結果概要	【A評価：76項目、B評価：9項目、C評価：0項目】 ■　各部署で病院機能評価項目に基づいて自主点検を実施。 ■　自己点検でB評価と評価された項目を中心に、マニュアル改正や新たな研修会の実施、設備の改善、書類の様式改善、リハビリ体制の強化、安全衛生の強化などを実施した。
改善結果	■　B評価からA評価へ改善：6項目 →　「療養環境整備」「診療記録の記載」「輸血･血液製剤投与」「リハビリ機能」「診療情報管理機能」「情報管理方針の明確化」 ■　B評価の項目について、引き続き改善に取り組んでいく。

2　数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	平成30年度				平成29年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	患者満足度･家族満足度	78.0%	69.0%	3	院内のスリッパ廃止、土足化	78.0%	73.7%	4
	広報誌の発行数等	12回	12回	5	管内町村の広報誌を活用	12回	12回	5
	ホームページ更新数	30回	28回	4	出前講座の案内等を掲示	22回	39回	5
	交流イベントの開催	4回	9回	5	住民交流事業、コンサート等の実施	4回	8回	5
良質な医療の実践	紹介率	28.5%	19.0%	2	他医療機関の地域連携室との連携	28.0%	25.6%	4
	逆紹介率	31.5%	28.0%	3	他医療機関の地域連携室との連携	31.0%	26.7%	3
	病床利用率	46.3%	31.9%	2	管内国保診療所、特別養護老人ホーム等への院内体制周知等	47.5%	40.0%	3
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	5人	4人	3		5人	4人	3
	医療安全研修参加率	87.0%	95.4%	5	研修の複数回実施	85.0%	94.6%	5
	資格取得者支援者数	4人	6人	5	医療安全管理者、第２種滅菌技師、感染管理認定看護師ほか	2人	5人	5
	経常収支比率	100.0%	100.0%	5		100.0%	100.0%	5
	医業収支比率	38.2%	34.1%	3	紹介患者の積極的受入	37.3%	36.0%	4
	過年度未収金残高	0.4百万円	0.3百万円	5	督促等	0.4百万円	0.4百万円	5

※ 前年度実績値比：増加→緑色、減少→赤色

○自己評価基準

目標値達成状況の自己評価（定量評価）	
【５】	目標値を上回った。達成度１００%以上
【４】	目標値を達成できた。達成度９０%以上
【３】	目標値をほぼ達成できた。達成度７０%以上
【２】	目標値を下回った。達成度５０%以上
【１】	目標値を大きく下回った。達成度５０%未満

宮下病院の状況

県立宮下病院				
事業開始年月		S26.11		
年度		H30実績	H29実績	H30-H29
1　施設等の概要				
病床数	【床】	32	32	0
100床当たり医師数	【人】	15.6	15.6	0
医師数	【人】	4	4	0
100床当たり看護職員数	【人】	93.1	91.3	1.8
看護職員数	【人】	27	26	1
2　病院概要				
診療圏の人口	【人】	7,965	8,202	-237
診療科		内科/外科/整形外科/皮膚科/耳鼻いんこう科/精神科	内科/外科/整形外科/皮膚科/耳鼻いんこう科/精神科	
3　損益の状況				
病院事業収益	【千円】	718,856	701,740	17,116
医業収益 （うち一般会計繰入金）	【千円】	243,787 (32,362)	250,728 (24,067)	-6,941 (8,295)
入院収益	【千円】	96,663	114,576	-17,913
外来収益	【千円】	96,967	93,866	3,101
その他医業収益	【千円】	50,157	42,286	7,871
医業外収益 （うち一般会計繰入金）	【千円】	474,953 (430,464)	450,726 (408,659)	24,227 (21,805)
特別利益	【千円】	116	286	-170
病院事業費用	【千円】	719,812	702,728	17,084
医業費用	【千円】	715,841	700,290	15,551
給与費	【千円】	463,759	432,552	31,207
材料費	【千円】	35,582	35,207	375
経費	【千円】	148,964	167,024	-18,060
減価償却費	【千円】	48,099	45,308	2,791
資産減耗費	【千円】	646	2,451	-1,805
研究研修費	【千円】	18,791	17,748	1,043
医業外費用 （うち企業債利息）	【千円】	1,904 (1,904)	2,216 (2,216)	-312 (-312)
特別損失	【千円】	2,067	222	1,845
医業収支［収益-費用］	【千円】	-472,054	-449,562	-22,492
純損益	【千円】	-956	-988	32
収支差補填額 （全額一般会計繰入金）	【千円】	374,215	368,501	5,714
4　経営分析				
病床利用率	【%】	31.9	40.1	-8.2
平均在院日数	【日】	15.1	16.4	-1.3
入院患者数	【人】	3,726	4,684	-958
1日平均入院患者	【人】	10.2	12.8	-2.6
入院診療単価	【円】	25,992	24,461	1,531
外来患者数	【人】	14,411	14,122	289
1日平均外来患者	【人】	59.1	57.9	1.2
外来診療単価	【円】	6,760	6,647	113
外来/入院比率	【%】	386.8	301.5	85.3

収益増減理由
○入院収益：▲17,913千円 ・長期入院患者数減少による入院患者数の減（▲958人） ○外来収益：+3,101千円 ・精神科等患者数増による外来患者数の増（+289人）

費用増減理由
○医業費用 ・退職者増（2人→4人）による給与費の増（+31,207千円） ・空調設備大規模改修等費用減による経費の減（▲18,060千円（修繕費：▲21,157千円）） ・H29購入器械備品の償却開始による減価償却費の増（+2,791千円）

一般会計繰入金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

Ⅱ　医療の質の向上の取組状況

矢吹病院

〈参考〉

1　病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検：平成30年12月　改善：平成31年2月
点検結果概要	【Ａ評価：59項目、Ｂ評価：27項目、Ｃ評価：0項目】 ■　各部署で病院機能評価項目に基づいて自主点検を実施。 ■　検討組織を設置して、利点、課題を明確にすることで、改善を進めることとしている。
改善結果	■　Ｂ評価からＡ評価へ改善：3項目 →　「医療機器の安全点検」「身体拘束の適切な実施」「職員の能力評価」など ■　Ｂ評価の項目について、引き続き改善に取り組んでいく。

2　数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	平成30年度				平成29年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	患者満足度･家族満足度	73.0%	74.0%	5	接遇研修、接遇チェックリスト	70.0%	72.8%	5
	広報誌の発行数等	2回	2回	5	広報誌「彩雲」（9,3月　各1,000部）	2回	2回	5
	ホームページ更新数	105回	100回	4	診療、講演会、病院まつり等を掲載	50回	103回	5
	交流イベントの開催	2回	3回	5	講演会（児童思春期、アルコール）、病院まつり	2回	3回	5
良質な医療の実践	紹介率	63.0%	54.5%	3	地域医療連携室での専任２名体制	37.5%	62.6%	5
	逆紹介率	27.0%	18.9%	3	地域医療連携室での専任２名体制	27.5%	26.5%	4
	病床利用率	81.5%	68.3%	3	断らない医療（予約無し直来患者対応のため責任番配置、休日･夜間の受入）	79.2%	73.0%	4
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	9人	8人	3		8人	9人	5
	医療安全研修参加率	95.0%	98.0%	5	一つのテーマを３回実施することで参加機会を確保	95.0%	98.0%	5
	資格取得者支援者数	1人	1人	5	認知症の認定看護師養成研修への派遣	1人	1人	5
	経常収支比率	100.1%	100.5%	5		100.1%	101.8%	5
	医業収支比率	49.8%	50.5%	5	断らない医療による患者受入	50.4%	55.1%	5
	過年度未収金残高	4.0百万円	3.3百万円	5	督促、出張徴収、弁護士回収委託	4.0百万円	3.8百万円	5

※ 前年度実績値比：増加→緑色、減少→赤色

○自己評価基準

目標値達成状況の自己評価（定量評価）	
【５】	目標値を上回った。達成度１００%以上
【４】	目標値を達成できた。達成度９０%以上
【３】	目標値をほぼ達成できた。達成度７０%以上
【２】	目標値を下回った。達成度５０%以上
【１】	目標値を大きく下回った。達成度５０%未満

矢吹病院の状況

県立矢吹病院				
事業開始年月		S30.11		
年度		H30実績	H29実績	H30-H29
1　施設等の概要				
病床数	【床】	196	196	0
100床当たり医師数	【人】	6.0	6.4	-0.4
医師数	【人】	8	9	-1
100床当たり看護職員数	【人】	68.6	67.9	0.7
看護職員数	【人】	91	84	7
2　病院概要				
診療圏の人口	【人】	271,053	273,571	-2,518
診療科		精神科/内科/歯科	精神科/内科/歯科	
3　損益の状況				
病院事業収益	【千円】	1,744,731	1,745,454	-723
医業収益	【千円】	875,062	941,482	-66,420
（うち一般会計繰入金）		(50,475)	(93,551)	(-43,076)
入院収益	【千円】	614,131	667,389	-53,258
外来収益	【千円】	177,712	150,418	27,294
その他医業収益	【千円】	83,219	123,675	-40,456
医業外収益	【千円】	868,799	803,886	64,913
（うち一般会計繰入金）		(812,516)	(749,124)	(63,392)
特別利益	【千円】	870	86	784
病院事業費用	【千円】	1,746,517	1,747,089	-572
医業費用	【千円】	1,731,993	1,711,155	20,838
給与費	【千円】	1,335,915	1,322,171	13,744
材料費	【千円】	92,781	87,473	5,308
経費	【千円】	187,096	177,226	9,870
減価償却費	【千円】	74,599	81,142	-6,543
資産減耗費	【千円】	810	2,401	-1,591
研究研修費	【千円】	40,792	40,742	50
医業外費用	【千円】	2,538	3,457	-919
（うち企業債利息）		(2,538)	(3,199)	(-661)
特別損失	【千円】	11,986	32,477	-20,491
医業収支［収益-費用］	【千円】	-856,931	-769,673	-87,258
純損益	【千円】	-1,786	-1,635	-151
収支差補填額（全額一般会計繰入金）	【千円】	597,366	587,138	10,228
4　経営分析				
病床利用率	【%】	68.3	73.0	-4.7
平均在院日数	【日】	220.7	187.2	33.5
入院患者数	【人】	36,423	39,691	-3,268
1日平均入院患者	【人】	99.8	108.7	-8.9
入院診療単価	【円】	16,861	16,815	46
外来患者数	【人】	22,331	20,065	2,266
1日平均外来患者	【人】	91.5	82.2	9.3
外来診療単価	【円】	7,958	7,500	458
外来/入院比率	【%】	61.3	50.6	10.8

収益増減理由
○入院収益：▲53,258千円 ・地域移行による入院患者数の減（▲3,268人） ○外来収益：+27,294千円 ・児童思春期外来の診療体制の充実等による外来患者数の増（+2,266人）

費用増減理由
○医療費用：20,838千円 ・大野病院職員（9人）兼務解除等による給与費の増（+13,744千円） ・薬価の高い向精神薬使用による材料費の増（+5,308千円（薬品費：+7,154千円）） ・外部医師の増、建物点検業務の委託等による経費の増（+9,870千円（報償費：7,263千円、委託料：+2,413千円）） ・建物経年による減価償却費の減（▲6,543千円）

一般会計繰入金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

Ⅱ　医療の質の向上の取組状況

ふたば医療センター附属病院

〈参考〉

1　病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	平成30年4月開院のため、同年度実績を元に令和元年度より実施予定。
実施時期	
点検結果概要	
改善結果	

2　数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	平成30年度				令和元年度	令和2年度
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	目標値
患者中心の医療の推進	患者満足度･家族満足度	－	90.0%	－	アンケート調査、ご意見箱の設置	90.0%	90.0%
	広報誌の発行数等	－	2回	－	町村広報誌で取組紹介、県広報媒体（広報誌、テレビ・ラジオ、SNS等）も活用	2回	3回
	ホームページ更新数	－	9回	－	ページデザインのリニューアル、公式Twitterアカウントを作成した情報発信	12回	12回
	交流イベントの開催	－	2回	－	ふたばワールド（9/29）、富岡えびす講市（11/10,11）　ブース出展	2回	4回
良質な医療の実践	紹介率	－	31.4%	－	他医療機関の地域連携室との連携	35.0%	39.0%
	逆紹介率	－	21.8%	－	他医療機関の地域連携室との連携	24.0%	26.4%
	病床利用率	－	13.0%	－	24時間365日対応で救急患者受入	14.0%	15.0%
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	－	2人	－		2人	2人
	医療安全研修参加率	－	98.0%	－	職員への周知徹底	98.0%	98.0%
	資格取得者支援者数	－	4人	－	特定行為１、糖尿病養士１、在宅医療エキスパート薬剤師１ほか	4人	4人
	経常収支比率	－	100%	－		100.0%	100.0%
	医業収支比率	－	10.2%	－	24時間365日対応で救急患者受入	11.0%	12.0%
	過年度未収金残高	－	0.7百万円	－	督促等	0.6百万円	0.5百万円

平成30年４月に開院したため、平成30年度の実績値を参考にして、
２カ年分（令和元年・２年度）の数値目標を設定する。

ふたば医療センター附属病院の状況

県ふたば医療センター附属病院				
事業開始年月		H30.4		
年度		H30実績	H29実績	H30-H29
1　施設等の概要				
病床数	〔床〕	30	－	－
100床当たり医師数	〔人〕	6.7	－	－
医師数	〔人〕	2	－	－
100床当たり看護職員数	〔人〕	100.0	－	－
看護職員数	〔人〕	30	－	－
2　病院概要				
診療圏の人口	〔人〕	62,336	－	－
診療科		内科、救急科	－	
3　損益の状況				
病院事業収益	〔千円〕	1,114,550	－	－
医業収益	〔千円〕	113,529	－	－
（うち一般会計繰入金）		(36,159)	－	－
入院収益	〔千円〕	29,864	－	－
外来収益	〔千円〕	32,817	－	－
その他医業収益	〔千円〕	50,848	－	－
医業外収益	〔千円〕	1,001,021	－	－
（うち一般会計繰入金）		(165,844)	－	－
特別利益	〔千円〕	0	－	－
病院事業費用	〔千円〕	1,114,199	－	－
医業費用	〔千円〕	1,114,199	－	－
給与費	〔千円〕	348,123	－	－
材料費	〔千円〕	36,680	－	－
経費	〔千円〕	541,112	－	－
減価償却費	〔千円〕	163,551	－	－
資産減耗費	〔千円〕	24	－	－
研究研修費	〔千円〕	24,709	－	－
医業外費用	〔千円〕	0	－	－
（うち企業債利息）		(0)	－	－
特別損失	〔千円〕	0	－	－
医業収支［収益-費用］	〔千円〕	-1,000,670	－	－
純損益	〔千円〕	351	－	－
収支差補填額（全額地域医療復興事業補助金）	〔千円〕	671,424	－	－
4　経営分析				
病床利用率	〔%〕	13.0	－	－
平均在院日数	〔日〕	7.8	－	－
入院患者数	〔人〕	1,338	－	－
1日平均入院患者	〔人〕	3.9	－	－
入院診療単価	〔円〕	22,328	－	－
外来患者数	〔人〕	2,816	－	－
1日平均外来患者	〔人〕	8	－	－
外来診療単価	〔円〕	11,702	－	－
外来/入院比率	〔%〕	210.5	－	－

収益増減理由
－

費用増減理由
－

地域医療復興事業補助金説明
運営経費の収支差補填

Ⅱ　医療の質の向上の取組状況

ふたば復興診療所

1　病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検：平成30年12月　改善：平成31年3月
点検結果概要	【Ｓ評価：2項目、Ａ評価：15項目、Ｂ評価：40項目、Ｃ評価：0項目】 ■　無床診療所のため、病院機能評価項目のうち対象となる項目を抽出し、自主点検を実施。 ■　Ｃ評価は無かったが、「良質な医療の実践」や「理念達成に向けた組織運営」において、Ａ評価の割合が少なかった。
改善結果	■　Ｂ評価からＡ評価へ改善：4項目 →　「地域への情報発信」「診療･ケアの質と安全確保」「チーム医療」 ■　Ｂ評価の項目について、引き続き改善に取り組んでいく。

2　数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	平成30年度				平成29年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	患者満足度･家族満足度	75.0%	88.8%	5	飲料水の提供、雑誌・新聞の配置	70.0%	60.8%	3
	広報誌の発行数等	－	－	－		－	－	－
	ホームページ更新数	24回	24回	5	診療情報の随時掲載など	24回	24回	5
	交流イベントの開催	－	－	－		－	－	－
良質な医療の実践	紹介率	12.0%	11.0%	4	ふたば医療センター附属病院等との連携	11.0%	8.2%	3
	逆紹介率	9.0%	8.5%	4	ふたば医療センター附属病院等との連携	8.0%	4.4%	2
	病床利用率	－	－	－		－	－	－
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	－	－	－		－	－	－
	医療安全研修参加率	100.0%	100.0%	5	職員への周知徹底	100.0%	75.0%	3
	資格取得者支援者数	－	－	－		－	－	－
	経常収支比率	100.0%	100.0%	5		100.0%	100.0%	5
	医業収支比率	32.5%	39.5%	5	地域に寄り添った医療の提供	23.8%	33.0%	5
	過年度未収金残高	0.01百万円	0.01百万円	5	督促等	0.01百万円	0.01百万円	5

※ 前年度実績値比：増加→緑色

○自己評価基準

目標値達成状況の自己評価（定量評価）	
【５】	目標値を上回った。達成度１００%以上
【４】	目標値を達成できた。達成度９０%以上
【３】	目標値をほぼ達成できた。達成度７０%以上
【２】	目標値を下回った。達成度５０%以上
【１】	目標値を大きく下回った。達成度５０%未満

〈参考〉

ふたば復興診療所の状況

県ふたば医療センター附属ふたば復興診療所				
事業開始年月		H28.2		
年度		H30実績	H29実績	H30-H29
1　施設等の概要				
病床数	【床】	－	－	－
100床当たり医師数	【人】	－	－	－
医師数（非常勤）	【人】	(1)	(1)	(0)
100床当たり看護職員数	【人】	－	－	－
看護職員数	【人】	5	4	1
2　病院概要				
診療圏の人口	【人】	62,336	63,552	-1,216
診療科		内科/整形外科	内科/整形外科	
3　損益の状況				
病院事業収益	【千円】	219,499	217,307	2,192
医業収益 （うち一般会計繰入金）	【千円】	87,879 (1,140)	71,460 (0)	16,419 (1,140)
入院収益	【千円】	－	－	－
外来収益	【千円】	86,076	71,006	15,070
その他医業収益	【千円】	1,803	454	1,349
医業外収益 （うち一般会計繰入金）	【千円】	131,310 (5,956)	145,847 (5,634)	-14,537 (322)
特別利益	【千円】	310	0	310
病院事業費用	【千円】	219,261	217,068	2,193
医業費用	【千円】	219,092	216,894	2,198
給与費	【千円】	82,301	77,615	4,686
材料費	【千円】	44,484	35,975	8,509
経費	【千円】	73,510	84,523	-11,013
減価償却費	【千円】	18,466	18,466	0
資産減耗費	【千円】	102	38	64
研究研修費	【千円】	229	277	-48
医業外費用 （うち企業債利息）	【千円】	18 (18)	18 (18)	0 (0)
特別損失	【千円】	151	156	-5
医業収支［収益-費用］	【千円】	-131,213	-145,434	14,221
純損益	【千円】	238	239	-1
収支差補填額 （全額地域医療復興事業補助金）	【千円】	107,455	122,281	-14,826
4　経営分析				
病床利用率	【%】	－	－	－
平均在院日数	【日】	－	－	－
入院患者数	【人】	－	－	－
1日平均入院患者	【人】	－	－	－
入院診療単価	【円】	－	－	－
外来患者数	【人】	7,783	6,656	1,127
1日平均外来患者	【人】	32.0	27.3	4.7
外来診療単価	【円】	11,197	10,685	512
外来/入院比率	【%】	－	－	－

収益増減理由
○外来収益：+15,070千円 ・楢葉町の帰還住民の増加及び定期通院患者の再診（かかりつけ）化による患者数の増（+1,127人） ●楢葉町居住人口 H30年3月末：2,929人 H31年3月末：3,678人(+749人)

費用増減理由
○医業費用：+2,198千円 ・職員の年齢による自然増及び患者数増加による超過勤務手当等の増（+4,686千円） ・薬価の高い循環器系患者の増による材料費の増（+8,509千円（薬品費：+6,219千円）） ・土日診療が終了したことによる経費の減（▲11,013千円（使用料及び賃借料：▲2,009千円））

地域医療復興事業補助金説明
運営経費の収支差補填

Ⅲ　経営の効率化に向けた取組状況

1　患者数の状況

（単位：人、%）

区分 / 病院名	延入院患者数 H30年度	延入院患者数 H29年度	延入院患者数 増減	延入院患者数 増減率	延外来患者数 H30年度	延外来患者数 H29年度	延外来患者数 増減	延外来患者数 増減率
南会津	22,165	18,216	3,949	21.7	58,328	59,415	△ 1,087	△ 1.8
宮下	3,726	4,684	△ 958	△ 20.5	14,411	14,122	289	2.0
矢吹	36,423	39,691	△ 3,268	△ 8.2	22,331	20,065	2,266	11.3
ふたば	1,338	–	–	–	2,816	–	–	–
リカーレ	–	–	–	–	7,783	6,656	1,127	16.9
合計	63,652	62,591	1,061	1.7	105,669	100,258	5,411	5.4

*延入院患者数増の主な要因・・・（南会津）整形手術増、近隣保健福祉施設等との連携による入院患者数の増加　など
*延外来患者数増の主な要因・・・（矢吹）H29年4月新設の訪問看護ステーション利用者や児童思春期外来受診者の増加
（リカーレ）楢葉町への帰還住民の増加に伴う外来受診者の増加　など

2　県立病院事業の決算額

（単位：百万円）

年度	H28	H29	H30
病院事業収益	7,500	7,003	6,985
病院事業費用	7,522	7,114	6,940
当年度純損益	▲ 22	▲ 111	45

*H30年度純損益の主な要因・・・旧会津総合病院跡地（公舎）の売却益（約6,500万円）など

損益の状況（消費税抜）　（単位：百万円、%）

区分	H30年度（A）	H29年度（B）	増減（A－B）	増減率
病院事業収益	6,985	7,003	▲ 18	▲ 0.3
医業収益	2,816	2,821	▲ 5	▲ 0.2
うち入院収益	1,450	1,376	74	5.4
うち外来収益	1,024	956	68	7.1
うちその他医業収益	342	489	▲ 147	▲ 30.1
医業外収益	4,076	4,167	▲ 91	▲ 2.2
一般会計負担金等	2,424	3,048	▲ 624	▲ 20.5
特別利益	93	15	78	520.0
病院事業費用	6,940	7,114	▲ 174	▲ 2.4
医業費用	6,673	6,117	556	9.1
医業外費用	235	253	▲ 18	▲ 7.1
特別損失	32	744	▲ 712	▲ 95.7
当年度純損益	45	▲ 111	156	140.5

3　収支計画の目標１：政策医療経費

一般会計繰入金のうち

「政策医療に係る経費」を、改革プラン計画期間中の目標値以下とする。

＜政策医療に係る経費＞　（単位：百万円）

年度	H28	H29	H30	H31	H32
目標額	1,068	1,456	1,407	1,384	1,383
決算額	1,354	1,385	1,308		

※28年度目標額は、第2次県立病院改革プランの目標値

【病院別の政策医療に係る経費（決算額）】

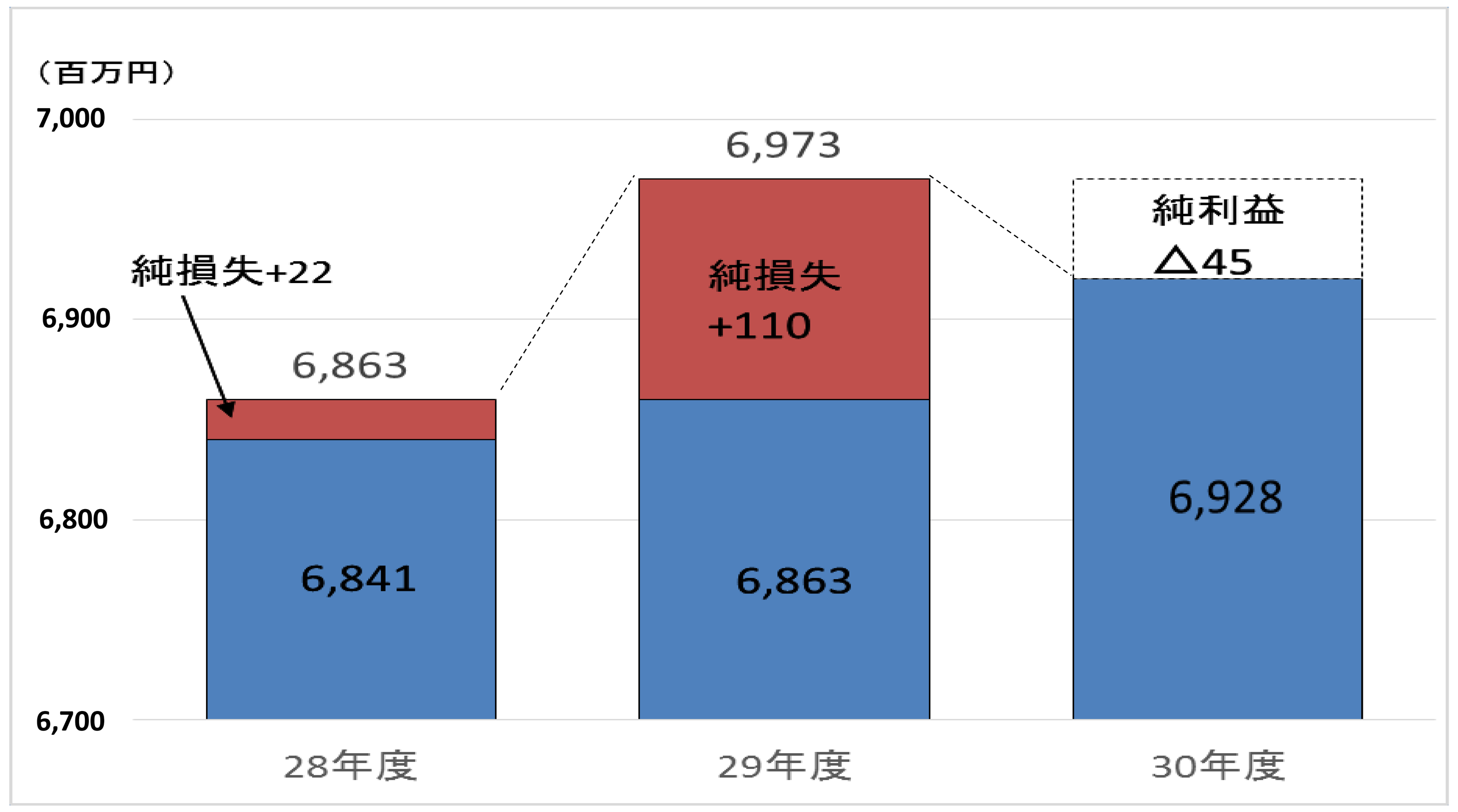
	H28	H29	H30	
南会津	465	429	336	一般会計繰入金
宮下	331	369	374	一般会計繰入金
矢吹	558	587	598	一般会計繰入金
ふたば	—	—	*671*	参考：地域医療復興事業補助金
リカーレ	*120*	*123*	*108*	参考：地域医療復興事業補助金

＊決算額前年度比で7,700万円減、改革プラン目標額比で9,900万円減の13億800万円となった。
　病院別では、前年度比で南会津病院が9,300万円の減、矢吹、宮下病院は、それぞれ1,100万円、500万円の増となった。
　なお、ふたば医療センター附属病院、ふたば復興診療所（リカーレ）では、政策医療に係る経費として、地域医療復興事業補助金を受け入れているため、引き続き財源確保が必要となる。

4　収支計画の目標２：累積欠損金の処理状況

収益確保・費用削減に努めるとともに、様々な手段を講じ、削減に取り組む。

＜欠損金残高＞



＊累積決算金については、旧会津総合病院跡地（公舎）の売却により、前年度比で4,500万円減の69億2,800万円となった。
　引き続き、改革プラン計画期間中の目標値60億4,000万円を目指して、未利用財産の売却に取り組む。